

報道機関各社 様

## 麻疹（はしか）患者発生について

7 月 23 日（月）、札幌市内の医療機関から札幌市保健所に麻疹（はしか）患者の発生届の提出があり、札幌市衛生研究所で病原体検査を実施したところ、陽性と判明いたしました。

当該患者は海外渡航先で感染した可能性があるため、海外渡航を予定される方に対し注意喚起を行うとともに、当該患者と接触した方は麻疹に感染する可能性があることから、各医療機関および市民へ注意喚起のために情報提供を行います。

### 1 患者情報

20 歳代、女性

### 2 患者確定までの経過

6 月 15 日（金）～7 月 13 日（金） タイ（パタヤ、バンコク）へ渡航

7 月 16 日（月） 発症（発熱等）

7 月 23 日（月） 市内医療機関 A、B を受診

同 日 市内医療機関 B より麻疹患者（臨床診断例）として届出  
札幌市衛生研究所による病原体検査の結果、麻疹と検査診断

### 3 保健所の対応等

保健所では、医療機関 A、B における感染防止対策および接触者への連絡状況を確認し、感染防止に努めている。

### 4 今回の麻疹に関する注意喚起

(1) 発熱、発疹等の症状から「麻疹」が疑われる場合は、医療機関に「麻疹かもしれない」ことを事前に連絡の上、必ずマスクを着用し、速やかに受診してください。

また、受診の際は、周囲の方へ感染を拡げないように、公共交通機関等の利用を控えてください。

(2) 海外渡航する際は、麻疹にかかったことが明らかでない場合、渡航前に麻疹の予防接種歴を母子健康手帳などで確認し、2 回接種していない場合もしくは不明な場合は、抗体検査、予防接種を検討してください。

患者、医療機関の特定に係る情報の収集等につきましては、プライバシーの保護および医療機関等の正常な運営確保のため、提供資料の範囲内での報道をお願いいたします。

問い合わせ先：札幌市保健所感染症総合対策課  
電話 622-5199

## 麻疹について

## 1 症状等

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われています。

## 2 感染経路

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、人から人への感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われており、感染する時期は、発症の 1 日前から解熱後 3 日後までとされています。

免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

## 3 潜伏期間

約 10 日～12 日間

## 4 予防

- ・麻疹は感染力が非常に強く、主に空気感染であるため、手洗い・マスクのみで予防はできません。
- ・麻疹ワクチンの接種（定期予防接種は 2 回。第 1 期：1 歳、第 2 期：小学校入学前）が有効な予防法と考えられています。本市では第 1 期では 97.1%、第 2 期では 90.1%の方が MR ワクチンを接種しています（平成 29 年度実績、国の目標値は 95%）。
- ・「麻疹ワクチンを 2 回以上接種、又は過去に麻疹に罹患したことがある方」を除き、麻疹ワクチン（MR ワクチン）を 2 回接種することが重要です。
- ・なお、麻疹の患者に接触した場合には、72 時間以内に麻疹ワクチンの予防接種をすると効果的であると言われています。

## 5 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

## 6 麻疹患者の報告数（過去 5 年間、診断日）※平成 30 年は 7 月 24 日時点

年次	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年※
札幌市	1	5	1	1	0	1
北海道 (本市含む)	2	13	1	1	1	1
全国	229	462	35	165	189	185

(以上)